

半年のホロスコープ



2026年11月～2027年4月





この冊子の読み方



前半「あなたの取扱説明書」は、生まれたときの星の配置から読んだ、あなたの性質です。半年で変わるものではないので、何度読み返しても使えます。

まん中の「半年の流れ一覧」は、11月から4月までに動く星の流れを、一つの表にまとめたものです。全体の見取り図として使ってください。

後半「月ごとの流れ」は、その月にどの性質が動きやすいかを書いています。月の初めに、その月のページだけ読むのがおすすめです。

各項目の最後にある小さな札は、その読みのもとになった星の配置です。くわしい意味は巻末の「星のメモ」にまとめています。

この冊子は、性質や傾向を読むものです。出来事や相手の気持ち、何かが起きる日を言い当てるものではありません。





第1章

あなたという人

はじめに | 大切な人の役に立つことが、喜びの人

あなたの芯

大切な人の役に立てたとき、
いちばん満たされる人

外から見えるあなた

- 社交的で、人見知りしない
- 聞き上手
- フットワークが軽い
- よく気がつく
- 頼みごとをしやすい

内側のあなた

- 心配性で、先が見えないと不安
- 言葉に敏感で、よく覚えている
- あとから考え込む反省家
- 理想のはっきりしたロマンチスト
- 本当は自分も楽しみたい



好意を、まず
行動で示す



先の予定が
決まっていると
安心

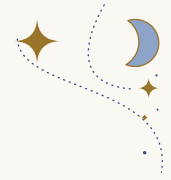


言われた言葉の、
その先まで考える



喜ばせたい人で
あり、一緒に
楽しみたい人





あなたの芯：大切な人の役に立てたとき、いちばん満たされる

あなたは、自分のためだけに何かをするより、大切な人のために時間や手間を使うときに力が湧く人です。相手の暮らしが少し楽になった、喜んでもらえた。その手ごたえと、そこから生まれる信頼や愛情に、自分がここにいる意味を感じやすいのです。なぜそこまで張り切れるのか。あなたの星の配置では、生き方を表す太陽が「親しい人と喜びを育てる場所」にあります。そして、好意の示し方を表す金星が「日々の手助け」の場所にあります。人を喜ばせることと、自分が喜ぶことが、最初から同じところに置かれているのです。この冊子に出てくる「尽くしすぎる」「自分の楽しみが後回しになる」という話は、すべてこの芯から来ています。弱点ではなく、強すぎる長所です。

◆ 蟹座の太陽（第5ハウス）×乙女座の金星（第6ハウス） ◆

尽くした分、気づいてほしい気持ちはある

見返りがほしくて尽くしているわけではありません。それでも、自分がしてきたことに気づいてほしい、同じくらい大切にされたい、という気持ちはあります。ただ、それを口に出すことはほとんどありません。そのため、返ってこない状態が続くと、ある日「なんで私ばかり」という気持ちがあふれます。けれど相手からすれば、頼んだ覚えのないことです。「そんなこと、求めてないよ」と言われて、さらに傷つく。これが、あなたがいちばん陥りやすいすれ違いです。防ぐ方法は、我慢が限界になる前に、小さいうちに言葉にしておくこと。「これをしてくれると、うれしい」と、先に伝えておくことです。

◆ 乙女座の金星（第6ハウス）×乙女座の月・重なり ◆

外のあなたが軽やかに見えるのは、思いついたらすぐ声をかけ、話しながら次の一手を決める速さがあるからです。周りが見ているのはこの速さです。けれど、あなたの心が落ち着くのは、予定がはっきりして先が見えたとき。動くのは速いのに、安心するには





時間がかかる。この二つは向きが違うため、外ではテンポよく動きながら、内側では「本当にこれでよかったかな」と立ち止まっている。そのずれが、人から見えるあなたと、あなたが知っているあなたの差になっています。

① 好意を、まず「行動」で示す

あなたは、好きな人や大切な人への気持ちを、言葉より先に行動で示す人です。相手が困っていると聞けば代わりに調べものをする、疲れていそうなら飲み物を買って帰る、予定が重なっていれば段取りを引き受ける。こうした小さな手助けが、あなたにとっての「好き」の伝え方です。あなたにとって「相手の暮らしを楽しむこと」と「相手を好きでいること」は、ほとんど同じ意味だからです。ただ、行動は、相手が気づいてくれないと伝わりません。12月4～8日ごろと2月4～6日ごろは、この行動で示してきた好意を、言葉にしても伝えやすい時期です。

相手が困っていると聞いた夜、頼まれてもいないのに解決の方法を調べている自分に気づく。

たとえば



「好き」を言葉でたくさん伝え合う関係



気づいたら相手の分まで飲み物を買って帰っているような関係の方が、あなたには自然です。

行動で示す好意を「重い」と受け取らず、「ありがとう」と素直に受け取ってくれる人とは、長く続きやすいでしょう。

◆ 乙女座の月（第6ハウス）×乙女座の金星（第6ハウス）・重なり ◆



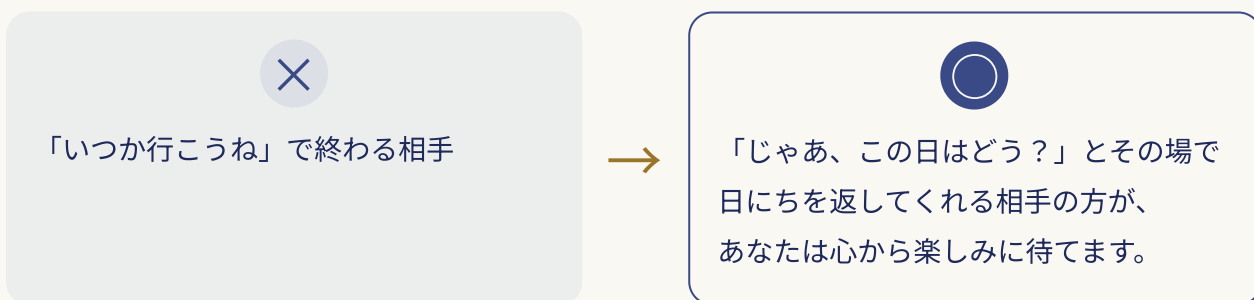


② 先の予定が決まっていると安心する。 だから、自分から決めにいく

あなたの心が落ち着く条件は、はっきりしています。いつ・誰と・何をすることが、先に決まっています。そして、あなたは誘われるのを待つ人ではありません。予定が宙に浮いているのが落ち着かないので、自分から「来週の土曜はどう？」と決めにいく側です。悩むのは、そのあとです。誘ったのに相手の返事が遅い、相手がなかなか日にちを決めてくれない。そういうとき、あなたは楽しみより先に落ち着かなさを感じ、返事を急かしたくなる自分に疲れます。11月は、この「安心の条件」そのものを見直したくなる時期です。

自分から誘ったあと、相手の「また連絡するね」のまま日にちが決まらず、何度も画面を見てしまう。

たとえば



✦ 乙女座の月（第6ハウス）×双子座の火星（第3ハウス）・90度 ✦





3

言われた言葉の、その先まで考える



あなたは、人の話を聞くと、言われた中身だけでなく「なぜ今それを言ったのか」「本当はどう感じているのか」まで考える人です。同じ「大丈夫」でも、声の調子や前後の話から、本当に大丈夫なのか、無理をしているのかが気になる。そして、うれしかったことは具体的な言葉で返すのも得意です。このため、あなたと話した人は「分かってもらえた」と感じやすく、あなたとの会話は相手の記憶に残ります。ただ、考えるぶん、相手が無気なく言った短い一言を、重く受け止めすぎることもあります。11月後半から1月上旬は、この傾向が強まる時期です。

何年も前に言われた一言を、言った本人より正確に覚えている。

たとえば



毎日まめに連絡をくれるけれど前に話したことは覚えていない人



連絡は多くなくても、あなたの誕生日や大事な予定の日には連絡をくれる人の方に、心が開いていきます。

あなたが見ているのは、連絡の多さではなく、覚えていてくれるかどうかです。

◆ 蟹座の水星（第4ハウス）×乙女座の金星・60度 ◆





④ 喜ばせたい人であり、 一緒に楽しみたい人

あなたは、親しい人とのあいだに喜びを育てたい人です。誰かを喜ばせることは、あなたにとって我慢ではなく楽しみです。ただ、あなたには理想の関係を思い描く力も強くあります。そのため、「こうなれたらいいな」というイメージが、実際の関係より先に大きくなることがあります。喜ばせたい、一緒に楽しみたい、理想に近づきたい。この三つが同時に動くのがあなたです。12月の終わりから3月にかけては、親しい人との楽しみ方そのものを変えてみたくなる時期です。3月5～7日ごろと4月11～13日ごろは、自分の楽しみを選びやすいタイミングです。

相手の喜ぶ顔を想像して準備していたのに、
当日いちばん楽しんでいるのは自分だったと気づく。

たとえば



あなたが尽くす側に回り続ける関係



「今日はあなたの行きたい
ところにしよう」と、楽しみを順番に
分け合える関係の方が、あなたは無理を
せずにいられます。

◆ 蟹座の太陽（第5ハウス）×海王星・180度 ◆





「人の役に立つことで満たされ、先が見えることで 安心する人」

あなたは、人の小さな困りごとに気づき、言葉より先に行動で好意を示す人です。その身軽さの裏で、心は「この先の予定が見えている安心」を求めています。外では動きが速く、内側では慎重。この二つを両方もっていることが、あなたの魅力であり、ときどき疲れる理由でもあります。この半年は、その二つのどちらを優先するかを、見直したくなる時期が何度か来ます。





恋愛 | 楽しさで近づき、安心で深まる

① 「一緒にいて、体の力が抜ける人がいい」

あなたが恋に求めているのは、ときめきの大きさよりも、一緒にいるときの落ち着きです。あなたの中では「この人といるとほっとする」と「この人が好き」がほとんど同じ意味です。刺激的な相手に一時的に惹かれても、落ち着けない関係は長く続けにくい。逆に、最初は目立たなくても、一緒にいて呼吸が楽になる相手には、時間をかけて気持ちが育っていきます。

別れたあとの帰り道、肩の力が抜けていることに気づいて、「あ、この人は大丈夫だ」と思う。

たとえば



緊張してドキドキが続く関係



お互いに軽くいじり合えるような、
気心の知れた関係の方が、あなたの
気持ちは長く続きます。

会っていて沈黙があっても気まずくない、くだらない話で笑い合える。そんな相手こそ、将来を考えるパートナーの候補になりやすい人です。

◆ 乙女座の月×乙女座の金星・重なり ◆





2

「小さな好みを、分かっているほしい」

あなたは大きな贈り物や派手な演出より、日々の小さな配慮に愛情を感じる人です。自分が普段そうやって好意を伝えているからこそ、相手からの小さな気づかいにも敏感に反応します。苦手なものを避けてくれた、好きな飲み物を覚えていてくれた。そうした一つひとつが、あなたにとっては言葉以上の「好き」の証になります。反対に、配慮が一方通行のまま続くと、口には出さなくても心の中で疲れがたまっていきます。

何も言っていないのに、相手が自分の苦手なものをそっと避けてくれたとき、胸の奥が温かくなる。

たとえば



記念日に高価な贈り物をくれる人



帰りに「これ好きだったよね」と小さなお菓子を一つ買ってきてくれる人に、あなたは深く惹かれます。

派手さより、覚えていてくれることが、あなたにとっての愛情の証です。

◆ 乙女座の金星（第6ハウス）×蟹座の水星・60度 ◆





「話しながら、次の 楽しみを一緒に決めたい」



あなたの恋は、会話から動き出します。話しながら動き出す性質なので、話がはずむうちに「それ行きたい」「今度やろう」と、楽しみの予定が自然に生まれていきます。テンポのいい会話ができる相手とは、関係が早く進みやすいでしょう。ただし、その速さに気持ちが追いつかないこともあります。あなたにとって大切なのは、話が合うことと、落ち着いたあとも会いたいと思えること、その両方です。

会話の勢いで次の約束にうなずいたあと、家に帰ってから「楽しみ」と「ちょっと早かったかも」が同時に来る。

たとえば



こちらの希望を黙って叶えてくれる
優しい人



「それいいね、じゃあ土曜にしよう」と
一緒に計画を進めてくれる人の方が、
恋は動き出しやすいでしょう。

ただ、決めるのが早すぎる人より、「一回考えてからでいいよ」と待ってくれる人の方が、最後には長く続きます。

◆ 双子座の火星（第3ハウス）×乙女座の月・90度 ◆





「思い描く二人と、本当の二人を近づけたい」



あなたの心の中には、「こんなふうにご過ごせたら」という二人の姿が、かなりはっきりあります。それは恋の原動力でもあり、ときに迷いの原因にもなります。理想の像が大きくなるほど、目の前の相手のよさを見落とし、理想とのずれに一人で落ち込んだりしやすいからです。あなたの恋がうまくいくのは、理想を手放すときではなく、理想と現実の二人を少しずつ近づけていけるときです。

好きな人と笑い合えた日の夜、うれしさのあまり、まだ決まってもいない先の二人まで思い描いてしまう。

たとえば



最初から理想どおりに見える人

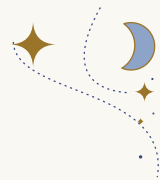


少しずつ素の部分を見せ合える人の方が、あなたの恋は深まります。

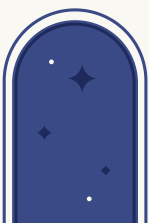
完璧に段取りされたデートより、予定がずれて二人で笑い合えた日の方を、あとになってよく思い出す。そんな関係が、あなたには向いています。

◆ 蟹座の太陽（第5ハウス）×海王星・180度 ◆





好きになるまでの流れ



1 会話がはずむ



2 好きなものの
話で盛り上がる



3 その場で日にちまで決まる



4 小さな気づかいの交換



5 一緒にいると落ち着く



6 楽しさと落ち着きの
差に迷う



7 落ち着いたあとも会いたい



勢いで近づき、安心で決まる





流れのくわしい説明

会話がはずむ（テンポの合う人に、まず目が向く）

好きなものの話で盛り上がる（店・映画・行ってみたい場所など）

「今度一緒に行こうよ」「いつにする？」と、その場で日にちまで決まる

小さな気づかいの交換が増える（好みを覚えていてくれる、など）

「この人といると落ち着く」と、気持ちより先に体が感じる

楽しさと落ち着きの差に、少し迷う時期がある

落ち着いたあとも会いたいと思えたとき、気持ちが本物になる

あなたの恋は、勢いで近づき、安心で決まる。

① 約束や段取りが、雑に扱われ続けたとき

あなたにとって、予定や約束は気持ちの土台です。日程が直前まで決まらない、決めたことがあっさり変わる。そうしたことが一度や二度なら受け止められても、続くと「大切にされていない」という感覚に変わっていきます。相手に悪気がなくても、あなたの安心の条件と合わないことがある。それは相手か自分のどちらかが悪いのではなく、安心の作り方の違いです。

◆ 乙女座の月（第6ハウス） ◆





② 気づかいが、ずっと一方通行のとき

あなたは、言葉より先に行動に出る人です。そのため、気づけば自分ばかりが配慮している関係になりやすい面があります。最初は喜んでしていたことも、返ってこない状態が続くと、少しずつ心の距離が開いていきます。あなたが冷めるとき、それは突然ではなく、小さな「あれ？」の積み重ねです。

◆ 乙女座の金星（第6ハウス）×乙女座の月・重なり ◆

③ 思い描いた相手と、目の前の相手がずれていったとき

理想の二人の姿がはっきりしているぶん、実際の相手がその像から離れていくと、気持ちが急に遠のくことがあります。ただ、これは相手が変わったのではなく、あなたの中の像が先に大きくなっていた場合も多い。冷めかけたと感じたら、それが相手の行動なのか、自分の想像なのかを分けてみると、関係の本当の姿が見えてきます。

◆ 蟹座の太陽×海王星・180度 ◆

楽しさで始まり、安心で深まる。それが、あなたの恋のいちばん自然な形です。





出会い | 会話の続きから、恋が始まる

あなたの出会いは「一目で」より「話すうちに」

あなたの恋の入口は、見た目の印象よりも会話です。話がはずむほど相手への関心が育ち、うれしかったことを言葉で返すうちに、距離が縮まっていきます。一方で、気持ちが本当に動くのは、安心できると分かってから。だからあなたの出会いは、最初の一回で決まるのではなく、何度か言葉を交わしたあとに「この人だ」と分かる形をとりやすいのです。

① 質問上手で、話のきっかけを作れる

あなたは、相手のことが気になると、自然に質問が出てくる人です。話しながら動く性質なので、興味はまず「聞いてみる」という形で動きます。そして、相手の答えのうれしかった部分を、具体的な言葉で返すのも上手です。聞いて、受け取って、返す。この往復ができるので、初対面の相手とも会話が続きやすく、あなたとの会話は相手の印象に残りやすいでしょう。

話しているうちに、相手のことをもう少し知りたくなって、気づけば自分ばかり質問している。





たとえば



一目で強く惹かれた相手



何気ない会話が二度三度と続いた相手の
方が、あなたの恋は始まりやすいです。

「この前の話の続きなんだけど」と自然に言える相手は、それだけで候補に入っています。

◆ 双子座の火星（第3ハウス）×水星と金星の60度 ◆



人見知りはしないが、 心を開くのはゆっくり



外から見るとすぐ打ち解ける人に見えますが、あなたの心が本当に開くのは、相手と
いて落ち着けると分かってからです。あなたの「好き」は安心のあとから
ついてきます。初対面で盛り上がりつつも、それだけで恋だとは決めない。何度か
会って、気をつかわずにいられると分かってから、気持ちが深くなっていきます。

初めて会った日は楽しかったのに、帰り道には「まだよく
分からない」と思っている。





たとえば



初対面の人が多い飲み会で出会う



同じ顔ぶれで何度も会う集まりや、
毎週顔を合わせる場所での出会いの
方が、あなたには合っています。

何回目かに会ったとき「あれ、この人と話すと落ち着く」と気づく。それがあなたの恋の始まり方です。

✦ 乙女座の月×乙女座の金星・重なり（第6ハウス） ✦



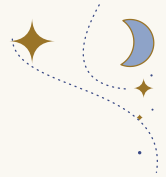
相手のイメージが、会う前に育ちやすい



あなたは、メールやチャットの短い文面からも、「この人はこういう人なんだろうな」と人柄を想像して、頭の中で作り上げてしまう人です。言葉の選び方、返事の間、絵文字の使い方。そうした小さな手がかりから、相手の話し方や笑い方まで思い描きます。その想像が当たることもあります。外れたときに、相手より自分の作った像の方にがっかりしてしまうことも。想像は、会って話すことで答え合わせをするものだと思っておくと、出会いがずっと楽になります。

やりとりの文面だけで、相手の声や笑い方まで
思い浮かべていたのに、会ってみたら全然違って驚く。





たとえば



文字のやりとりを長く続けてから会う
出会い方



早めに一度会って、声や表情を知る
出会いの方が、あなたは相手を正しく
見られます。

◆ 蟹座の太陽×海王星・180度 × 蟹座の水星（第4ハウス） ◆

あなたの良さが出やすい出会いの場

- 同じ顔ぶれで何度も会う集まり（習い事・いつものお店・職場の近い人など）
- 共通の話題がある場（好きなものの話から会話が始められる）
- 少人数でゆっくり話せる席（大勢の中より、一対一に近い方が良さが伝わる）

半年の中では、2月15～22日ごろが「好きなことに向かって動きたい気持ち」と
「誘いや提案を言葉にするきっかけ」が重なる時期です。3月5～7日ごろも、
楽しみたい気持ちを外出や小さな誘いにつなげやすくなります。出会いが約束される
わけではありませんが、あなたの方から一歩動きやすい時期です。

あなたの出会いは、会話で始まり、安心で確かめる。





結婚と暮らし | 心地よさを、二人で作る

毎日の家のことが滞りなく回っていることが、愛情の土台になる

あなたにとって、一緒に暮らすことの幸せは、大きなイベントより、毎日が滞りなく回っていることにあります。ごみの日を忘れない、冷蔵庫に必要なものがある、予定が共有されている。そうした暮らしの回り方と、相手を大切に思う気持ちが、あなたの中では深く結びついています。いま一緒に暮らす相手がいる人にも、これからの人にも、ここに書いたことは「あなたが心地よくいられる暮らしの条件」として読んでください。

① 気づいた家事を先にやるうちに、いつのまにか担当になる

あなたは、ごみがたまってきた、洗剤が切れそう、といった暮らしの小さな「そろそろやらないと」に、相手より先に気づきます。そして好意が行動に出る人なので、気づいたらもうやっている。最初はそれでよくても、続くうちに相手は「やってくれる人がいる」のが当たり前になり、気づけば家のことの多くがあなたの担当になっています。かといって、家のことを全部細かくルールにすると、今度は相手の負担になります。決めごとが多いほど、守れなかったときに責める理由も増えるからです。あなたに合うのは、大きな分担を二つか三つだけ決めて、それ以外は「気づいた方がやって、やってくれたら一言お礼を言う」という形です。

相手が気づく前に片づけてしまって、あとで「どうして私ばかり」と思うのに、次もまた先に動いている。





たとえば



家事を細かく割り振って表にする暮らし



「料理はあなた、片づけは私」と大きな
分担だけ決めて、あとはお礼を言い合う
暮らしの方が、二人とも長く心地よく
過ごせます。

◆ 乙女座の月×乙女座の金星（どちらも第6ハウス） ◆



「これを教えてくれると 安心」を、先に伝えておく



あなたの安心の条件は「先が見えていること」です。帰る時間、週末の予定、お金の
使い道。これが分からないままだと、相手に悪気がなくても、あなたは一人で
落ち着かなさを抱えます。相手に何かを我慢してもらう必要はありません。
分かっていればいいことを先に教えてもらうだけで、あなたの暮らしの不安の多くは
消えます。そしてあなたは、それを角を立てずに言葉にできる人です。言わなくても
分かってほしいと待つより、先に一言伝えておく方が、あなたには合っています。

思い切って「帰る時間だけ教えてくれると安心する」と伝えたら、
相手があっさり「分かった」と言って、拍子抜けする。





たとえば



言わなくても察してほしい関係



「これがあるとうれしい」「これは少し
苦手」と気軽に言い合える関係の方が、
あなたの暮らしは長く心地よく
続きます。

◆ 蟹座の水星（第4ハウス）×乙女座の金星・60度 ◆

3

相手の喜ぶ顔を想像して準備する 時間が、いちばん楽しい



あなたにとって暮らしの楽しみは、相手を喜ばせる準備と結びついています。相手の好物を作る、誕生日の計画を考える、休日の行き先を調べる。当日より、その準備の時間にいちばん心が弾むことも多いはず。ただ、それが続くと、楽しみがいつも「相手が喜ぶこと」だけになり、あなた自身が楽しみにしていることが暮らしから消えていきます。二人の予定の中に、あなたが行きたい場所、あなたがやりたいことを一つ入れておく。それで、準備する楽しみと、自分が楽しむ楽しみの両方がそろいます。

相手の誕生日の計画を立てているときは楽しかったのに、自分の誕生日に何がしたいかを聞かれて、すぐに答えられない。





たとえば



いつも相手の行きたいところに合わせる
休日



「今月はあなた、来月は私」と行き先を
交互に決める休日の方が、あなたの
暮らしは長く楽しく続きます。

◆ 蟹座の太陽（第5ハウス）×乙女座の金星（第6ハウス） ◆

決めごとが守られなかったときは、責める前に「どうしたら続くか」を話す

先が見えると安心するあなたは、決めたことが守られないと、それだけで
落ち着かなくなります。けれど、一度守られなかったことを責めると、相手は次から
決めごと自体を重く感じるようになります。守られなかったときは、「なんで
やってくれないの」ではなく、「この分け方、続けにくかった？」と聞く。決めごととは
一度決めたら終わりではなく、二人で直していくものだと思っておくと、あなたの
安心と、相手の気楽さの両方を守れます。

◆ 乙女座の月（第6ハウス）×水星と金星の60度 ◆

12月28日～3月22日ごろは、親しい人との距離の取り方や、これまでの楽しみ方
を変えて試してみたいくなる時期です。家のことの分け方を見直すなら、この時期が
向いています。4月18～30日ごろは、自分が引き受けている量を見直しやすい
時期です。

大きな分担だけ決めて、あとはお礼を言い合う。守られなかったら、責めずに直す。
それが、あなたが心地よく暮らせる形です。





すれ違ったとき

すれ違ったとき | 話し合いは、二回に分ける

あなたのすれ違いは「その場で決まった結論」から
始まりやすい

あなたは、言葉を軽く扱わない人です。だから、すれ違ったあとの話し合いで、その場で結論まで決めてしまうと困ります。自分の気持ちを確認めないまま話が決まり、あとで「本当にあれでよかったのかな」と思い悩むからです。その一方で、気まずい状態を長く置いておけず、早く片づけたい気持ちもある。早く終わらせたい気持ちと、ちゃんと考えたい気持ち。この二つがぶつかるのが、あなたのすれ違いです。

① その場で決まった結論を、 あとから疑ってしまう

話し合いの場では、相手の言い分を聞き、空気を悪くしたくない気持ちも働いて、「分かった、そうしよう」と答えてしまいがちです。けれど、あなたは自分の気持ちを一人で確かめてから答えたい人です。考える時間がないまま決まった結論は、心の中では決まっていない。夜になってから、「本当はそういうことじゃなかった」と思い返すことになります。

話し合いで「それでいいよ」と言って終わったのに、帰り道で、言いたかったことを一つずつ思い出している。





たとえば



一回の話し合いで結論まで出す仲直り



「今日はお互いどう
思ったかだけ話そう。」

どうするかは明日決めよう」と二回に分ける仲直りの方が、あなたは納得して前に進めます。

◆ 乙女座の月×双子座の火星・90度×蟹座の水星 ◆



結論を急ぐ相手には、「決めない理由」と「いつ答えるか」を先に言う



相手が早く結論を出したい人だと、「今日は決めないでおこう」は、逃げているように聞こえることがあります。だから、「ちゃんと考えて返したいから、明日の夜まで時間がほしい」と、決めない理由と、いつ答えるかを先に伝える。期限が分かれば、結論を急ぐ相手も待ちやすくなります。そしてあなた自身も、期限があることで、考える時間を安心して使えます。

「明日の夜に返事するね」と伝えたら、相手が思ったよりあっさり「分かった」と言ってくれて、肩の力が抜ける。





たとえば



「今は決められない」とだけ言う



「ちゃんと考えたいから、明日の夜に返事する」と期限をつけて伝える方が、結論を急ぐ相手も安心して待てます。

✦ 水星と金星の60度 × 乙女座の月 ✦



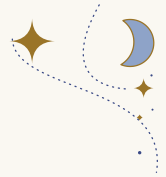
「次はこうしてほしい」 を、一つだけ言える人



あなたは、自分の好みや気持ちを具体的な言葉にできる人です。そして、相手の暮らしが少し楽になることに喜びを感じる人でもあります。だから、すれ違いのあとは、不満を並べるより「次はこうしてくれるとうれしい」と一つだけ伝える方が、無理なく相手に届きます。

言いたいことはたくさんあったのに、一つだけ伝えたら、相手が思ったよりすんなり受け止めてくれて、残りはもうどうでもよくなっている。





たとえば



これまでの不満を全部まとめて話す
仲直り



「次の約束は前の日に教えてほしい」と
一つだけお願いする仲直りの方が、
あなたの関係は前に進みます。

◆ 水星と金星の60度 × 乙女座の金星（第6ハウス） ◆

あなたの仲直りの流れ



気まずさに耐えられず、早く片づけたくなる

一回目の話し合いでは、お互いどう思ったかだけを話す

「明日の夜に返事するね」と、答える時を決めて別れる

一人で、言われたことと自分の気持ちを分けて考える

二回目に、「次はこうしてほしい」を一つだけ伝える

納得して決めたことなので、あとから思い悩まずにすむ

あなたの仲直りは、気持ちをそろえる日と、決める日を分ける。





夜詠

11月17日～1月8日ごろは、人の言葉に、言われた以上の意味を考えてしまいやすい時期です。この時期のすれ違いほど、その場で決めずに一晩おく方が向いています。
2月15～22日ごろは、伝えたいことを言葉にしやすい一方で、返事を急ぎたくもなる時期です。

すれ違ったら、話し合いを二回に分ける。一回目は気持ちをそろえ、結論は次の日に。





仕事 | 気づいたことを、伝える形にする

物事を分解して順番に並べる力と、話しながら前に進める力。その両方が武器

仕事の場でのあなたは、物事を構造で捉えるのが得意な人です。何を・いつまでに・どの順でやるかが、仕事でいちばん大事だと分かっている。だから、それが見えていない仕事に出会うと、見える形にするまでこだわられます。同時に、人と話しながら物事を前に進められる人でもあります。この二つを両方持つ人は、意外と多くありません。ただし、気づいたことを自分の手で黙って片づけてしまうと、あなたの力は周りから見えにくくなります。どんな仕事をしているかに関係なく、ここに書くのは、あなたが力を出しやすい働き方の傾向です。

① 見えていない仕事を、見える形にするまでこだわられる

ゴールや手順があいまいな仕事を任されたとき、あなたはそのまま手をつけません。まず関わる人に話を聞き、やることを書き出し、順番と期限を決めて、全員に見える形にするところから始めます。年次が上がり、指示を受ける側から、自分で決めて人に任せる側になったときこそ、この力は生きます。あなたが作った「やること・担当・期限」の一覧があると、部下や一緒に進める人は迷わずに動けます。自分だけが分かっている状態で満足せず、周りを巻き込んで見える化するところまでやる。それがあなたの強みです。

誰も全体が分からないまま始まった仕事で、自分が作った一覧を見せた瞬間、会議の空気が軽くなる。





たとえば



あいまいなまま走り出して途中で何度もやり直すチーム



最初の一時間であなたが「やること・担当・期限」の一覧を作ったチームの方が、結局は早く終わります。

◆ 乙女座の月（第6ハウス）×双子座の火星（第3ハウス） ◆

2

動きながら考える、 話しながら決めるタイプ



あなたは、話しながら動き出す人です。一人で長く考え込むより、誰かと話しながら考えをまとめ、そのまま動き出す方が速く進みます。相談や打ち合わせの中で、良い案が浮かぶことも多いでしょう。

一人で悩んでいたことを人に話し始めたら、説明している途中で自分で答えが見つかる。

たとえば



黙々と一人で進める仕事



人と言葉を交わしながら進める仕事の方が、あなたは力を出しやすいです。

行き詰まったら、机で考え続けるより、誰かに「ちょっと聞いて」と話してみる方が早道です。

◆ 双子座の火星（第3ハウス） ◆





③ 気づいたことを、言葉にできる人

あなたは細かい改善点によく気づき、それを具体的な言葉で伝える力も持っています。言い方がやわらかいので、指摘も角が立ちにくく、相手に受け取られやすい。ただ、気づいたことを自分で全部直してしまう癖があると、その力が表に出ません。

誰も気づいていない小さな不便を、言われる前に直しておいたのに、誰にも気づかれないまま一日が終わる。

たとえば



気づいたことを黙って自分で片づけてしまう



「ここ、こうするともっと楽になりそう」と口に出して共有する方が、あなたの良さは周りに見えやすくなります。

◆ 水星と金星の60度 × 乙女座の月 ◆

④ 手柄を人に渡しすぎると、任される仕事が広がらない

あなたは、自分が気づいて直したことを「たいしたことじゃない」と言いがちです。けれど、仕事を任せる側は、誰が何をしたかが見えないと、次の仕事をその人に頼めません。改善したことは、一言でいいので報告に残す。会議で「ここの手順をこう変えました」と言う。それだけで、あなたに任される仕事の幅は変わります。





自分が作り直した手順をみんなが使っているのに、誰が作ったのかは誰も知らない。

たとえば



黙って直して誰にも気づかれない働き方



「この手順を変えたら、作業が10分短くなりました」と短く伝える働き方が、次に大きな仕事を任されやすくなります。

◆ 乙女座の金星（第6ハウス）×水星と金星の60度 ◆

この強みを伸ばすと、手が届きやすくなる役割

- あいまいな方針を、やること・担当・期限に落として人に任せる役（チームのまとめ役・管理職）
- 人や部署のあいだに立って、進み具合が見える形にする役（進行の管理・調整役）
- お客さまや仲間の困りごとを聞き取り、仕組みの改善につなげる役（企画・仕組みづくり・後輩の育成）

1月24日～4月16日ごろは、力を注ぐ先を絞り、続けたいことに集中しやすい時期です。あれもこれもと広げるより、「これだけは続ける」と決めたことに力が入りやすくなります。成果が約束される時期ではありませんが、集中の質が上がりやすい時期です。

気づける人から、伝えられる人へ。そこで、任される仕事の幅が広がる。





人との関わり | 深く聞ける人の、聞く範囲

相手が言葉にしきれていない気持ちまで、考えながら聞ける人

あなたは、人の話を聞くと、言われたことをそのまま受け取るだけで終わりません。「この人は本当は何に困っているのか」「なぜ今この話をしたのか」と、話の下にある事情まで考えながら聞いています。見えている言葉は氷山の一角で、その下にある本当の悩みが気になる人です。だから周りからは聞き上手に見え、相談相手に選ばれます。

① 共感で、相手が話しやすくなる聞き上手

聞き上手にもいろいろな型があります。あなたは、うまい質問で話を引き出す型ではありません。相手の気持ちに寄り添い、「それはつらかったね」と受け止めることで、相手が自分から深い話をしてくれる型です。とくに一对一や少人数で、ゆっくり話す場面で良さが出ます。相手が言葉にできずにいることを、あなたが「それって、こういうこと？」と言葉にしてみると、相手の考えがまとまることもあります。

相手が話し終わったあと、自分はほとんどしゃべっていないのに、
「話せてスッキリした」とお礼を言われる。





たとえば



大人数でにぎやかに盛り上がる場



一対一でゆっくり話す場の方が、
あなたの聞く力はよく伝わります。

◆ 蟹座の水星（第4ハウス）×月と木星の60度 ◆



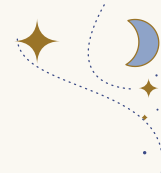
自分の知らない世界の 相談でも、最後まで聞く



職場の愚痴や、自分とはまったく違う仕事の悩み。あなたにはすぐに答えの出せない相談でも、あなたは「そんなこと悩まなくていいよ」と軽く流すことができません。最後まで聞いて、「私も前に、似たようなことがあって」と自分の経験を並べ、相手が一人ではないと感じられる足場を作る。同じ職場ではないからこそ話せることを、相手はあなたに話しに来ています。それが、あなたが相談相手に選ばれる理由です。

まったく知らない業界の愚痴を一時間聞いたあと、「あなたに話すと、なぜか楽になる」と言われる。





たとえば



「それは詳しい人に聞いた方がいいよ」
と早めに区切る聞き方



「分かる、私も前に…」と自分の経験を
重ねて最後まで聞く聞き方が、
相手からの信頼は深まります。

◆ 蟹座の水星（第4ハウス）×月と木星の60度 ◆



相手の期待以上に、 力になろうとして疲れる



あなたが疲れるのは、話を最後まで聞いたからではありません。聞いたあとに、相手の悩みを自分の中に持ち帰り、解決の方法まで調べ、次に会うときの言葉まで考えてしまうからです。先が見えない状態が苦手なので、人の悩みも、道筋がつくまで自分の中で終わらないのです。最後まで聞く力は、そのままでいい。減らすのは、聞いたあとに持ち帰る量の方です。相談を聞いた日は、帰りに好きなものを食べに行く、好きな音楽を聴いて帰るなど、自分を戻す時間を先に決めておくと、聞く力を長く保てます。

友人の相談を聞き終えた夜、自分の用事は何も進んでいないのに、
解決の方法を調べ続けている。





たとえば



聞いた悩みの解決策まで用意して次に
会う付き合い



その場で最後まで聞いて、帰り道に
好きなことで気持ちを切り替える
付き合いの方が、あなたは疲れに
くくなります。

◆ 乙女座の月（第6ハウス）×乙女座の金星 ◆

11月17日～1月8日ごろは、人の言葉に、言われた以上の意味を考えてしまいやすい
時期です。この時期に相談を受けることが重なったら、聞いたあとに自分を
戻す時間を、いつもより多めに取っておくと疲れにくくなります。

最後まで聞けることが、あなたが相談相手に選ばれる理由。聞いたあとに、自分を
戻す時間を持てばいい。





心の余裕の作り方 | 片づけより、楽しみに 時間を

やることが目に見えて片づいていると、心に余裕が
生まれる人

あなたが心に余裕を感じるのは、部屋が片づいていて、やることの一覧と予定が
はっきりしているときです。反対に、部屋が散らかっていたり、やることが頭の
中だけでぐるぐるしていたりすると、物事は順調に進んでいるのに、なぜか
気持ちだけが焦ります。周りからは落ち着いて見えるのに、内側では余裕がない。この
ずれが、あなたの疲れの正体であることが多いのです。

① 散らかっていると、順調でも焦る

あなたにとって、身の回りが片づいていることは、心の余裕そのものです。机の上や
予定表が片づいていくと、頭の中のもやもやも一緒に片づいていきます。だから、
疲れて何から手をつけていいか分からなくなったら、目の前の小さな一つを片づける
ことから始めると、気持ちが戻ってきやすいでしょう。

落ち込んでいた日、気づいたら引き出しを一つ片づけていて、終わる
頃には少し元気になっている。





たとえば



何もしないで横になる休み方



小さなことを一つ片づけてから
休む方が、あなたは心から休めます。

◆ 乙女座の月（第6ハウス） ◆



人のための段取りに、 休日が丸ごと消えやすい



あなたの休日を埋めるのは、自分の用事より、人のための段取りです。友人の誕生日会の店選びと予約、家族の用事の送り迎えの調整、職場の集まりの幹事、恋人や友人との旅行の下調べ。どれも頼まれると断らないし、頼まれなくても気づいて引き受ける。しかも、あなたにとっては喜びでもあるので、止めどころが分かりにくい。その結果、行きたかった場所、試したかったこと、心から楽しめたはずの時間を、少しずつ逃しています。

週末の予定を振り返ったら、全部が誰かのための用事で、自分が行きたかった場所は一つも入っていない。





たとえば



頼まれた段取りをその日のうちに全部
片づける休日



「段取りは午前中だけ、午後は自分の
ため」と先に区切る休日の方が、人の
役にも立てて、自分の楽しみも手に
入ります。

◆ 乙女座の金星（第6ハウス）×蟹座の太陽（第5ハウス） ◆



3 楽しい予定が一つあると、 毎日の段取りまで楽しくなる



あなたは、楽しみが先に見えていると、毎日の気力が保てる人です。どんなに身の回りが整理されていても、楽しみが見えていないと、気力は少しずつ減っていきます。逆に、小さくても楽しい予定が一つあるだけで、面倒な用事まで苦にならなくなる。あなたは、そういう人です。

来月の小さな楽しみを予約した日、それだけで今週の面倒な用事がいつもより苦にならない。





たとえば



大きな褒美を年に一度用意する



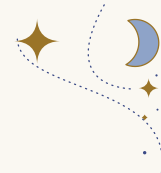
小さな楽しみを月に何度も予定に入れておく方が、あなたの気持ちは安定します。

✦ 蟹座の太陽（第5ハウス） ✦

4月18～30日ごろは、自分が大切にしたいことと、引き受けている責任の量を見直しやすい時期です。この半年の終わりに、自分の楽しみがちゃんと予定に残っているかを見直すのに向いています。

片づけは時間を区切って、残った時間は自分の楽しみへ。





半年の流れ一覧 | 11月～4月



この半年に動く流れを、時期の順に並べました。長い流れ（数か月続くもの）と、短いきっかけ（数日のもの）が重なりながら進みます。

11月1日～12月 2日ごろ	長い流れ	慣れた日々の過ごし方や、安心の条件を見直したくなる	先の予定が決まっていると、安心できる
11月17日～1月 8日ごろ	長い流れ	言葉から想像が広がりやすい。聞いたことと想像を分けたい	言われた言葉の、その先まで考える
11月27日～12月 2日ごろ	きっかけ	恋愛の転機：気になる人に、自分から動きやすい	先の予定が決まっていると、安心できる
12月4～8日ごろ	きっかけ	感謝や好みを言葉にして分かち合いやすい	行動で示してきた好意を、言葉にも
12月28日～3月 22日ごろ	長い流れ	恋愛の転機：これまでと違うタイプの人との出会いが生まれやすい・関係の形を新しくしやすい	心地よさと好意に近い
1月24日～4月 16日ごろ	長い流れ	仕事の転機：力を注ぐ仕事が決まり、「好き」が仕事につながりやすい	話しながら動く
2月4～6日ごろ	きっかけ	好みや心地よさを、小さな行動につなげやすい	好意を、まず行動で示す





夜詠

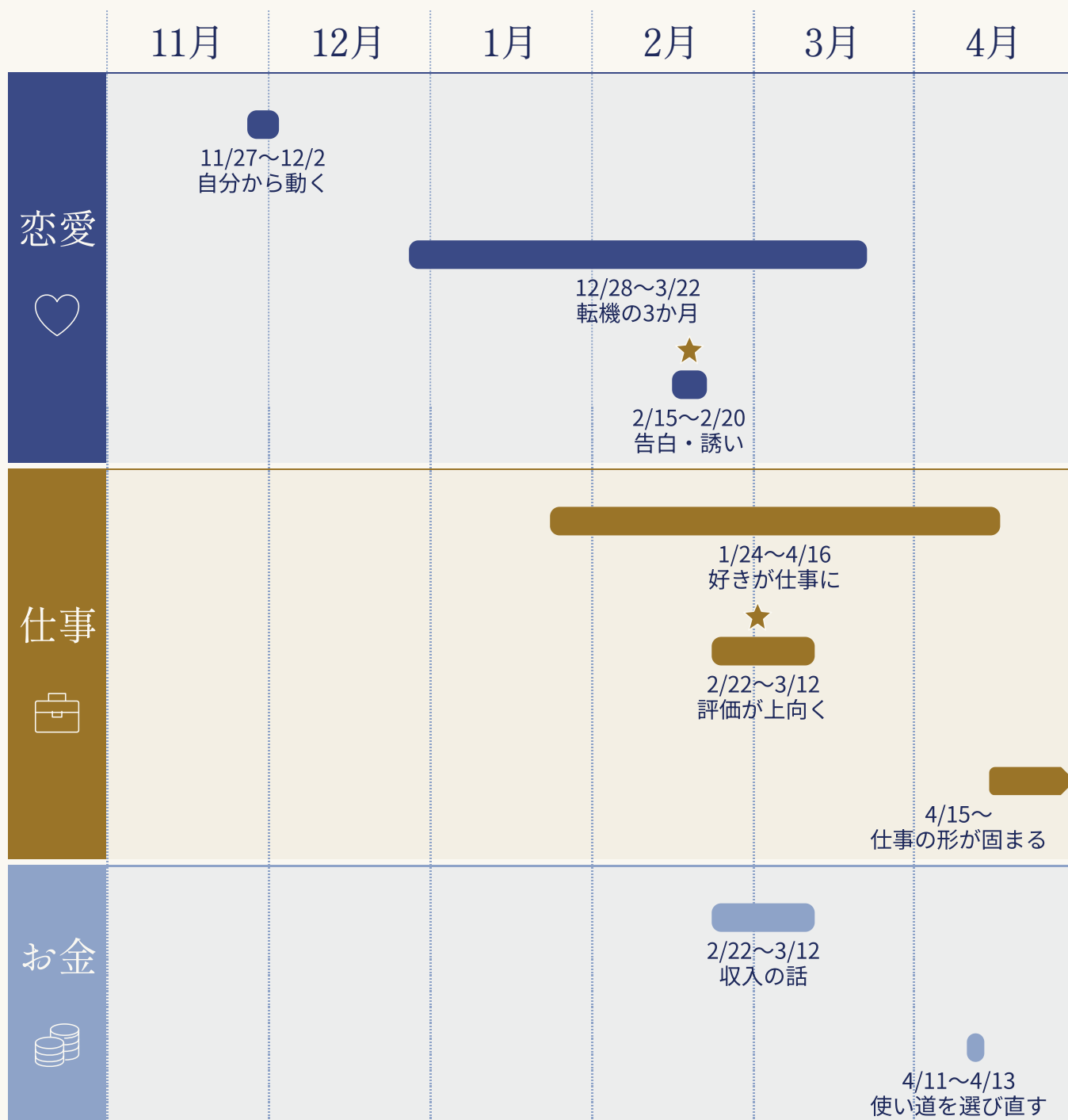
2月15～22日ごろ	きっかけ	恋愛の転機：告白や誘いに踏み出しやすい／やりたいことに人を誘いやすい	話しながら動く・返事を急ぎやすい
2月22日～3月12日ごろ	きっかけ	仕事の転機：評価や立場が上向きやすい（収入の話も切り出しやすい）	見えていない仕事を、見える形にする
3月5～7日ごろ	きっかけ	楽しみたい気持ちを、外出や小さな誘いにつなげやすい	一緒に楽しみたい
4月11～13日ごろ	きっかけ	自分の意思で、好きなものを選びやすい	喜びを育てたい
4月15～30日ごろ	長い流れ	仕事の転機：長く続ける仕事の形が固まりやすい（5月以降も続く）	見えていない仕事を、見える形にする
4月18～30日ごろ	長い流れ	大切にしたいことと、引き受ける量を見直しやすい（5月以降も続く）	喜ばせたい人・見通しを求める心

この半年は、毎日の過ごし方を見直し、好意を言葉にし、付き合い方と楽しみ方を試し、最後に続けるものを選ぶ。そんな順番で進みます。





この半年の転機



恋は12月末から3月、仕事は2月下旬から3月上旬が山場。





この半年の転機 | 恋愛・仕事・お金



この半年で状況が変わりやすい時期を、恋愛・仕事・お金に分けてまとめました。転機は、待っているだけで起きるものではありません。その時期に自分から一歩動くと、変化が起きやすい、という意味です。それぞれの月の章にも、同じ時期を詳しく書いています。

恋愛

11月27日～12月2日ごろ

気になる人に、自分から動きやすい数日間

行動を表す火星が、好意を表す金星に重なる数日間です。気になっている人がいるなら、自分から誘う、連絡するといった一歩を踏み出しやすくなります。予定は自分から決めにいくあなたの身軽さが、恋でもそのまま出せる時期です。

◆ 火星と金星の重なり（11月29日ごろ） ◆





12月28日～3月22日ごろ

恋愛の転機になりやすい、約3か月

変化をうながす天王星が、好意を表す金星に当たる時期です。これまでと違うタイプの人との出会いが生まれやすく、いつもの顔ぶれの外に目が向きます。新しい集まりに一つ顔を出す、紹介の話に乗ってみる。それだけで状況が変わりやすい時期です。恋人がいる人にとっては、二人の過ごし方や関係の形を一段新しくしやすい時期です。

◆ 天王星と金星の90度 ◆

2月15～20日ごろ

告白や誘いに、いちばん踏み出しやすい一週間

行動の火星が、もう一度好意の金星に重なります。12月末から続く恋愛の転機の時期の、ちょうど中ほどです。出会った人との距離を縮めたり、気持ちを言葉にしたりするのに、半年でいちばん向いた一週間です。

◆ 火星と金星の重なり（2月18日ごろ） ◆





仕事

1月24日～4月16日ごろ

力を注ぐ仕事が目まり、「好き」が仕事に つながりやすい

集中の力を後押しする星の動きが、行動を表す火星に重なる約3か月です。あれこれ手を広げていた人ほど、「これに力を注ぎたい」という仕事の一つに目まりやすくなります。2月は「好き」が行動になりやすい月と重なります。好きなことを副業や新しい役割として形にする、学び直して仕事の幅を広げる、といった方向に動きやすい時期です。

◆ 1月24日～4月16日ごろの星の動き × 双子座の火星 ◆

2月22日～3月12日ごろ（いちばん強いのは3月2日ごろ）

仕事での評価や立場が、上向きやすい

広がりを表す木星が、社会での立場を表す点（天頂）を後押しする時期です。これまでの仕事ぶりが認められやすく、新しい役割の話や、声がかかる機会が増えやすくなります。2月に温めていた案を出しておく、この時期に話が進みやすい。昇進や転職を考えている人にとっても、動き出すのに向いた時期です。

◆ 木星と天頂の120度 ◆





4月15～30日ごろ（5月以降も続く）

長く続ける仕事の形が、固まりやすい

4月の後半からは、仕事の土台を固める星の動きが、社会での立場を表す点に重なります。この半年で試してきたことの中から、これからも続ける仕事の形が決まりやすい時期です。任される責任が増える分、何を続けて何を人に任せるかを決めておくと、次の半年が安定します。

◆ 4月15日ごろからの星の動き × 天頂 ◆

お金

2月22日～3月12日ごろ

仕事の評価が、収入の話につながりやすい

仕事での評価が上向きやすいこの時期は、役割や報酬の見直しを切り出すのにも向いています。あなたは自分のしたことを「たいしたことじゃない」と言いがちです。この時期は、やってきたことを数字や一覧で示して、きちんと伝えてみてください。収入が増えると約束するものではありませんが、話を切り出す時期としては半年でいちばん向いています。

◆ 木星と天頂の120度 ◆





4月11～13日ごろ

お金の使い道を、自分の満足で選び直しやすい

自分の意思と楽しみが結びつく数日間です。人のための出費と、自分が心から満足できた使い方を見比べて、次の半年のお金の向け先を決めるのに向いています。

◆ 金星と太陽の120度 ◆

お金だけを動かす目立った星の動きは、この半年にはあまりありません。仕事の転機と連動して動く、と読んでください。

恋は12月末から3月、仕事は2月下旬から3月上旬が山場。どちらも、自分から一歩動いた人に変化が起きやすい時期です。





11月1日～11月30日

同じ毎日の外に、楽しみや
刺激を探したくなる月

この月の転機

恋愛

11/27～12/2

気になる人に、
自分から動きやすい

今月の仕事とお金

仕事



いつもの手順を、
一つだけ変えてみる

お金



少額で試してから、
続けるかを決める

☐

自分の「好き」を5つ書き出す





11月 | いつもの毎日に、変化を入れたくなる

半年の始まり：慣れた毎日に、物足りなさが出てくる

この半年は、あなたの「安心の条件」が揺さぶられるところから始まります。星の動きで言うと、心の落ち着き方を表す月に、変化をうながす天王星が強く当たる時期が、秋の終わりから12月初めまで続きます。これまで安心をくれていた決まった日課が、少し物足りなく感じられるのはそのためです。

11月は、段取りどおりに回る毎日にほっとしながらも、物足りなさを感じやすい月です。あなたが求めはじめるのは、日課の外にある楽しみです。季節ならではの行事に出かける、行ったことのない店に入る、気になっていた習い事をのぞいてみる。ただし、あなたは一人で楽しむより、誰かと一緒に楽しみたい人です。だからこの月の変化は、「自分が行ってみたい場所を自分で決めて、誰かを誘う」という形で出やすくなります。

仕事

仕事でも、決まった手順どおりに回すことに、少し退屈を感じやすい時期です。いつもの作業の順番を変える、使っている道具を一つ新しくする、といった小さな変化を自分から試したくなります。大きな配置換えを求めるより、自分の手の届く範囲の手順を変える方が、あなたには合っています。

お金

季節の行事や新しい習い事など、日課の外にある楽しみにお金を使いたくなる時期です。先が見えると安心するあなたは、最初から大きく払うより、体験の回のように少額で試してから、続けるかを決める方が後悔しません。





11月27日～12月2日ごろ

気になる人に、自分から動きやすい数日間

月の終わりに、行動の火星が好意の金星に重なる数日間があります。気になっている人がいるなら、自分から誘う、連絡するといった一歩を踏み出しやすくなります。

① 「明日もこれか」という小さな息苦しさ

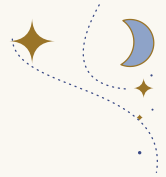
段取りどおりに一日が終わって安心する一方で、「明日もまた同じ」と感じやすい時期です。先が見えると安心するあなたにとっては戸惑う感覚ですが、打ち消す必要はありません。その息苦しさは、毎日のどこに変化を入れたいかを教えてくれる手があります。

いつもの帰り道で、ふと一本違う道を通ってみたくなる。

② 行き先を、自分の「行きたい」で決めたいくなる

これまで、誰かと出かけるときの行き先は、相手の好みに合わせることが多かったはずですが、この時期は、そこに自分の「行ってみたい」を入れたいくなります。一人の時間を増やすということではありません。誰かと過ごす予定の中身を、あなたが選ぶということです。





たとえば



相手の行きたい店ばかり選ぶいつもの
デート



「今日は私の好きな店にしてみよう？」
と言えるデートの方が、この時期の
あなたには心地よく感じられます。



一人ではできない楽しみを、 誰かと作りたくなる



あなたの楽しみは、一人より誰かと一緒の方が大きくなります。この時期は、季節の行事、少し遠出する計画、新しく始めたいことなど、一人では腰が上がりなことを、誰かと一緒なら始められる時期です。誘う相手を思い浮かべたとき、自然と名前が浮かぶ人。その人が、この半年のあなたの安心の新しい支えになっていきます。





11月17日～1月8日ごろ

人の言葉に、言われた以上の意味を考えやすくなる

11月の後半から年明けまで、相手の短い言葉に、言われた以上の意味を考えやすい時期が続きます。うれしい想像も、不安な想像も大きくなりがちです。寝る前に返事を何度も読み返して、まだ聞いてもいない続きを思い描いてしまう。そう気づいたら、その夜は答えを出さないと決めて、気になることは翌日、本人に一言聞く。想像の続きを止めるいちばん確かな方法は、本人の答えを聞くことです。

11月は、いつもの毎日に、楽しみの変化を一つ入れる月。

◆ 11月1日～12月2日ごろ・11月17日～1月8日ごろの星の動き × 乙女座の月・蟹座の太陽・蟹座の水星 ◆





12月 12月1日～12月31日

行動だけでは伝わりきらない
気持ちを、言葉にする月

この月の転機

恋愛

12/28～3/22

恋愛の転機の3か月が始まる

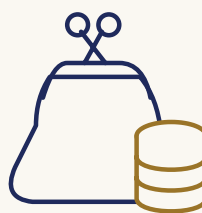
今月の仕事とお金

仕事



年内に終わる仕事と、
年明けに回す仕事を分ける

お金



人のために使う分の
予算を、先に決める

☐

「いつもありがとう」を言葉で一度伝える





12月 | 行動で示してきた気持ちを、言葉にも



11月からのつながり：変化の向きが、「人」に移りはじめる

11月に毎日の過ごし方を見直したあなたの関心は、12月に入ると、身近な人との関係に移っていきます。星の動きで言うと、言葉を表す水星と好意を表す金星の両方に、伝える力を後押しする金星の動きが重なる数日間（12月4～8日ごろ）があります。これまで行動で示してきた気持ちを、言葉でも渡すのに向いた月です。

あなたはこれまで、大切な人への気持ちを、手助けや気づかいといった行動で示してきました。けれど、どんなに身近な相手でも、あなたの行動をすべて見ているわけではありません。差し入れも段取りも、相手にとっては「いつものこと」になっていることがあります。あなた自身も、気持ちを言葉にするのは照れくさい、これだけしてきたのだから分かってくれているはず、と思っているところがあるはずです。だからこそ12月は、行動で示してきた気持ちを、言葉でも渡す月です。恋人に限らず、家族や友人、仕事の相手にも同じことが言えます。

仕事

年末で仕事の締めが重なる時期です。あなたは頼まれると段取りまで引き受けがちです。自分が持っている仕事を「年内に終えるもの」と「年明けに回すもの」に分けて、周りに先に伝えておくと、年末の詰め込みを避けられます。

お金

年末は、贈り物や集まりの費用など、人のための出費が増えやすい時期です。好意が行動に出るあなたは、気づくと相手の分まで多めに用意しがちです。月の初めに「人のために使う分」の予算を決めておくと、気前のよさを保ったまま、年明けに慌てずすみません。





1

12月4～8日ごろ | 感謝や 好みを、具体的な言葉にしやすい

「ありがとう」や「これ好き」を、いつもより具体的に、照れずに言葉にしやすい数日間です。相手の反応が約束されるわけではありませんが、あなたの方から言葉を渡しやすい時期です。

たとえば



黙って差し入れを置いておく



「この前これ好きって言ってたから」と一言添えて渡す方が、あなたの好意はまっすぐ伝わります。

2

仕事で頼りにしている 人に、言葉で伝える

この月の「言葉にする」は、恋人や家族だけのものではありません。仕事で、頼りにしている上司や同僚、黙って支えてきた後輩に、「いつも助かっています」「この前の判断、心強かったです」と伝える。年末のあいさつは、それを自然に言えるいい機会です。言葉にすると、あなたが積み重ねてきた仕事の意味が、相手にもはっきり届きます。





12月28日～3月22日ごろ

恋愛の転機になりやすい時期が始まる

月の終わりから3か月近く、恋愛の転機になりやすい時期が続きます。

これまでと違うタイプの人との出会いが生まれやすく、いつもの顔ぶれの外に目が向きます。新しい集まりに一つ顔を出す、紹介の話に乗ってみる。

それだけで状況が変わりやすい時期です。恋人がいる人は、二人の過ごし方を一段新しくしたくなります。

12月は、行動で示してきた「好き」や「ありがとう」に、言葉を添える月。



12月4～8日ごろ・12月28日～3月22日ごろ・11月17日～1月8日ごろの星の動き × 乙女座の金星・水星と金星の60度





1月1日～1月31日

いつもの心地よさが、物足りなくなる月

この月の転機

仕事

1/24～4/16

力を注ぐ仕事が定まりやすい

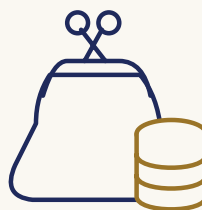
今月の仕事とお金

仕事



この3か月で形にする
仕事を、一つ決める

お金



惰性で続けている
出費を、一つやめる

☐

惰性の出費を一つやめる





1月 | いつもの付き合い方に、物足りなさを感じる



12月からのつながり：見直しが、親しい人との付き合い方に及ぶ

12月の終わりから、好意を表す金星に、変化をうながす天王星が当たる時期に入りました（3月22日ごろまで）。11月に毎日の過ごし方を見直したのと同じことが、今度は親しい人との付き合い方で起きます。これまでと同じ過ごし方では、同じようには満たされなくなってくるのです。

毎週同じ店で会う、決まった時間に連絡を取る、いつもの顔ぶれで過ごす。これまで安心をくれていた習慣が、1月はなぜか物足りなく感じられます。相手や関係が悪くなったのではなく、あなたが心地よいと感じるものが変わってきているのです。ただ、先が見えると安心するあなたは、全部を一度に変えることには抵抗があります。変えたい気持ちと、変えたくない気持ちが同時に動く、少し揺れやすい月です。

仕事

下旬からは、力を注ぐ先を絞りやすい時期に入ります（4月16日ごろまで）。年の初めに「この3か月で、これだけは形にする」という仕事を一つ決めておくと、あなたの段取りの力が散らばらずに一点に向かいます。頼まれごとが多い人ほど、先に一つ決めておく価値があります。

お金

いつもの習慣が物足りなく感じられるこの月は、習慣にかかっているお金を見直すのにも向いています。惰性で続けている月額のサービスや、いつも同じ店での外食。満足していないのに続けているものを一つやめて、その分を新しく試したいことに回す。変えたい気持ちを、お金の面から小さく形にできます。





1

会いすぎている人とは少し間を、 会えていない人とは近くに

この時期に変えたいくなるのは、親しい人との距離です。毎週のように会っている恋人や友人とは、たまには会う間隔をあけたり、別々に過ごす日を作ったりしたくなる。反対に、しばらく会えていない人には、自分から連絡を取って近づきたくなる。どちらも、関係が悪くなったからではなく、今のあなたに合う距離を探しているからです。恋愛の転機の時期に入っているので、しばらく会っていなかった人や、新しく知り合った人との距離が、思ったより早く縮まることもあります。

たとえば



毎週同じ店で会う関係なら、いつもの店より「たまには違う場所に
行ってみない？」と行き先を一つ変える方が、あなたには合っています。大きく変える



一つだけ変えてみる方が、揺れずに
すみます。

2

変えたい気持ちと、変えたくない 気持ちが同時にある

見通しを大切にするあなたは、変化を求める気持ちが強まっても、急に全部を変えることには抵抗があります。その揺れは自然なものです。変えることと守ることを、どちらか一つに決めなくていい月です。





新しいことを試したいと思いながら、結局いつもの店で、いつもの席に座ってほっとしている。

1月24日～4月16日ごろ

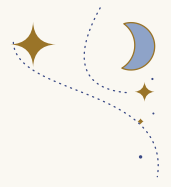
仕事の転機：力を注ぐ仕事が目まぐるしい

下旬から春まで、仕事で力を注ぐ先が一つに目まぐるしい時期が続きます。あれこれ手を広げていた人ほど、「これに力を注ぎたい」という仕事ははっきりしてきます。2月には「好き」が行動になりやすい月が重なるので、好きなことを仕事の形にしていく転機にもなりやすい時期です。

1月は、全部を変える月ではなく、付き合い方を一つだけ変えてみる月。

◆ 12月28日～3月22日ごろ・1月24日～4月16日ごろ・11月17日～1月8日ごろの星の動き × 乙女座の月・乙女座の金星・双子座の火星 ◆





2月1日～2月28日

好きなことが、そのまま行動になりやすい月

この月の転機

恋愛

2/15～2/20

告白や誘いに踏み出しやすい

仕事

2月全体

好きが仕事につながりやすい

今月の仕事とお金

仕事



温めていた案を、
手順つきで出す

お金



道具をそろえる
前に、まず一回体験



「好き」を一つ、日付を決めて予定にする





2月 | 「好き」が行動になる

1月からのつながり：揺れが落ち着き、「好き」に向かって動き出す

1月に、何を変えて何を残すかで揺れたあなたは、2月に入ると、変えたい方向が「自分の好きなこと」として見えてきます。好意を表す金星に、後押しになる星の動きが重なる時期が、上旬と中旬から下旬の二回あります。1月下旬から続く、一つのことに集中しやすい時期とも重なるので、半年の中でいちばん「好き」が行動になりやすい月です。

2月の「好き」は、人への気持ちだけではありません。趣味、仕事、暮らし方、これからの人生の過ごし方。あなたが心から好きだと思えるものに向かって、動き出しやすくなる月です。そして、行動してみたことで、自分が何に幸せを感じるのかがはっきりすることがあります。子どもと過ごす時間が好きな人なら、知り合いの子どもと遊んだことをきっかけに、それを仕事や暮らしの中心にできないかと考えはじめる。料理が好きな人なら、人に振る舞う機会を自分で作りたくなる。小さな行動の中に、この先の暮らしの柱になるものが見つかることもあります。

仕事

2月15～22日ごろは、温めていた案を人に提案するのにも向いた時期です。あなたは段取りまで考えてから話す人なので、「こうしたらどうでしょう。やることはこの3つで、期限はこの日です」と、手順つきで出せます。ここを出しておいた案は、2月下旬から3月上旬の、仕事の評価が上向きやすい時期に進みやすくなります。





お金

好きなことに使うお金が増えやすい月です。体験や学びにお金を使うなら、「いつか」ではなく日付を決めて申し込む方が、払ったお金がきちんと楽しみに変わります。勢いで道具だけそろえるより、まず一回体験してから買い足す方が、あなたには合っています。

恋愛

2月15～20日ごろ

告白や誘いに、いちばん踏み出しやすい一週間

行動の火星が、もう一度好意の金星に重なります。12月末から続く恋愛の転機の時期の、ちょうど中ほどです。出会った人との距離を縮めたり、気持ちを言葉にしたりするのに、半年でいちばん向いた一週間です。

仕事

2月全体

「好き」が仕事につながりやすい

1月下旬から続く、力を注ぐ仕事が目まぐるしい時期と、「好き」が行動になりやすい月が重なります。好きなことを副業や新しい役割として形にする、学び直して仕事の幅を広げる。そうした一歩が、春以降の仕事の形につながりやすい月です。





① 2月4～6日ごろ | 好みを、 小さな行動に移しやすい

好きなもの、心地よいと感じる過ごし方を、小さな行動に移しやすい数日間です。
恋愛の始まりや相手からの好意を示すものではありませんが、自分の「好き」に素直に
動きやすい時期です。

たとえば



気になっていたお店に「今度行こう」と
言うだけで終わらせる



その場で日にちまで決めてしまう方が、
あなたの「好き」は動き出します。

② 自分の「好き」を書き出して、 これからの予定に組み込む

せっかく「好き」が動きやすい月なので、一度立ち止まって、自分が本当に好きな
ことを書き出してみるのがおすすめです。そのうえで、それを今年のどこに入れるかを
考える。月に一度の楽しみにするのか、学び直すのか、仕事の一部にしていくのか。
先の見通しがあると安心するあなたは、「好き」も予定の形になったときに、
いちばん続けられます。





たとえば



「いつかやりたい」と思っただけの
好き



「3月中に体験に一回行く」と日付を
決めた好きの方が、あなたの中で本当に
動き出します。

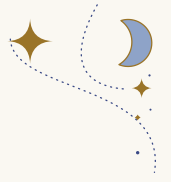


続ける と 決めた ことに、力が入りやすい



1月下旬から続く集中しやすい時期の中で、選んだことに力を注ぎやすい状態が
続いています。好きなことと続けたいことが同じなら、その両方がよく進みます。





2月15～22日ごろ

やりたいことに、人を誘いやすい

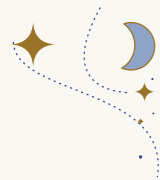
好きなことに向かって動きたい気持ちが強まり、少しあとから、それを人に提案する言葉が出やすくなる時期です。話しながら動くあなたにとって、「これやってみたいんだけど、一緒にどう？」と人を誘い、計画を立てるのにいちばん向いた一週間です。一方で、あなたは安心したい気持ちと急ぐ気持ちが同時に動く人です。誘ったあと返事を急かしたくなったら、相手の答えを待つ余裕も残しておく、誘いが心地よく届きます。

思い切って誘ってみたあと、返事が来るまでの数時間が、いつもよりずっと長く感じる。

2月は、自分の「好き」を見つけ直し、予定にして動き出す月。

◆ 2月4～6日ごろ・2月15～22日ごろ・12月28日～3月22日ごろ・1月24日～4月16日ごろの星の動き × 乙女座の金星・双子座の火星・月と火星の90度 ◆





3月1日～3月31日

楽しみを、人を誘って形にする月

この月の転機

仕事

2/22～3/12

評価や立場が上向きやすい

お金

同じ時期

収入の話を切り出しやすい

今月の仕事とお金

仕事



年度末の引き継ぎは、
どこまでやるかを先に決める

お金



誘うときは、先に
割り勘と言っておく



行き先を、自分の行きたい場所にして誘う





3月 | 誘って、一緒に楽しむ



2月からのつながり：一人の「好き」が、誰かとの 楽しみになる

2月に自分の「好き」に向かって動き出したあなたは、3月に入ると、それを誰かと一緒に楽しみたいくなります。上旬には、楽しみを表す金星と行動を表す火星がなめらかに結びつく数日間（3月5～7日ごろ）があります。また、12月の終わりから続いた、親しい人との付き合い方を見直したくなる時期が、22日ごろに区切りを迎えます。冬のあいだに試してきた新しい付き合い方が、一つの形にまとまる月です。仕事では、上旬にかけて評価や立場が上向きやすい転機の時期が重なります。

3月は、楽しみたい気持ちを、外出や小さな誘いにつなげやすい月です。2月に見つけた「好き」を、今度は人と分け合う段階です。あなたの中心にあるのは、人を喜ばせたい気持ちと、自分も一緒に楽しみたい気持ちの両方。この月は、喜ばせる側に回るだけでなく、自分が行きたい場所に人を誘う側に回りやすくなります。

仕事

3月は年度末で、仕事の区切りや人の入れ替わりが重なりやすい時期です。人や部署のあいだに立って進み具合をまとめるのが得意なあなたは、引き継ぎの一覧づくりや、送別の会の段取りを頼まれることもあるでしょう。引き受けるなら、どこまでやるかを先に決めておくと、年度末の忙しさに飲まれずにすみます。

お金

人を誘って出かけることが増える月なので、交際の費用もふくらみやすくなります。誘った側として多めに払いがちなあなたは、最初に「今日は割り勘ね」と軽く言うておく方が、相手も気をつかわず、また誘いやすくなります。





仕事

2月22日～3月12日ごろ（いちばん強いのは3月2日ごろ）

仕事での評価や立場が、上向きやすい

広がりを表す木星が、社会での立場を表す点（天頂）を後押しする時期です。
これまでの仕事ぶりが認められやすく、新しい役割の話や、声がかかる機会が増えやすくなります。昇進や転職を考えている人にとっても、動き出すのに向いた時期です。

お金

同じ時期

収入の話を切り出しやすい

役割や報酬の見直しを切り出すのに、半年でいちばん向いた時期です。
やってきたことを数字や一覧で示して伝えと、話が通りやすくなります。
収入が増えると約束するものではありません。

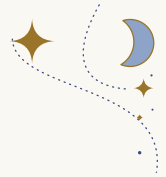


3月5～7日ごろ | 楽しみを、 行動につなげやすい



好意と行動の両方が動きやすい数日間です。大きな決断の時期ではなく、小さな誘いや外出のように、楽しみを形にしやすい時期です。





たとえば



誰かのための計画を立てる



「自分が行きたいところに、一緒に来てくれる？」と誘ってみる。

あなた自身が楽しむことが、この時期にはいちばんよく働きます。



22日ごろ | 冬に試した 付き合い方が、定着する



12月の終わりに試してきた、親しい人との新しい距離や楽しみ方が、この月に一つの形にまとまりやすくなります。続けたいものと、元に戻したいものが、自然と見えてくるでしょう。

冬のあいだに始めた新しい過ごし方を、気づけば「いつもの」と呼んでいる。





3月後半（1月24日～4月16日ごろの時期の続き）

続けられる量を、選び直す

1月下旬から続く集中しやすい時期は、まだ続いています。ただ、3月後半は、集中してきたことを「これからも続けられる量か」で見直しやすい時期です。見通しを大切にするあなたは、無理なく続く形が見えたとき、いちばん力が出ます。

3月は、自分の楽しみに、人を誘う月。

◆ 3月5～7日ごろ・12月28日～3月22日ごろ・1月24日～4月16日ごろの星の動き × 蟹座の太陽・双子座の火星・乙女座の月 ◆





4月1日～4月30日

これからも続けるものを、自分で選ぶ月

この月の転機

仕事

4/15～

長く続ける仕事の
形が固まりやすい

今月の仕事とお金

仕事



役割を、続ける・
任せる・やめるに分ける

お金



半年の出費を、
満足度で振り返る

☐

引き受けていることを一つ、人に渡す





4月 | 何を残し、何を手放すかを選ぶ



3月からのつながり：試してきたことを、選び取る段階へ

11月から試してきた新しい過ごし方や付き合い方、1月下旬から集中してきたこと。4月はそれらを振り返り、これからも続けるものを選ぶ月です。中旬には、自分の意思を表す太陽と楽しみを表す金星が結びつく数日間（4月11～13日ごろ）があります。下旬からは、引き受けている責任の量を見直したくなる時期が始まります。

半年の最後に問われるのは、「何を選ぶか」です。あなたは人のために動ける人なので、気づけば多くのことを引き受けています。仕事の役割、家のこと、友人の相談、この半年で新しく始めたこと。4月は、それらを並べてみて、自分が本当に大切にしたいものと、好意から引き受けてきただけのものを分けやすい月です。

仕事

下旬からは、引き受けている責任の量を見直したくなる時期です。頼まれて増えてきた役割を並べ、続けるもの・人に任せるもの・やめるものに分けやすくなります。続ける仕事の形が固まりやすい時期と重なるので、ここで決めた分け方が、次の半年の働き方の土台になります。

お金

11日から13日ごろは、人に合わせず、自分が本当に好きなものを選びやすい数日間です。お金の使い方も同じです。この半年の出費を振り返り、人のために使った分と、心から満足できた使い方を比べてみると、次の半年にお金をどこへ向けたいかが見えてきます。

4月に並べてみたい、4つの選択肢

- 続けたいもの：この半年で始めて、楽しかったこと・自分に合っていたこと





- 減らしたいもの：頼まれて引き受けてきたが、自分の喜びにはなっていないこと
- 人に渡せるもの：自分がやらなくても回ること（家のこと・仕事の段取りなど）
- 新しく入れたいもの：まだ予定にできていない、自分の「好き」

仕事

4月15～30日ごろ（5月以降も続く）

長く続ける仕事の形が、固まりやすい

4月の後半からは、仕事の土台を固める星の動きが、社会での立場を表す点に重なります。この半年で試してきたことの中から、これからも続ける仕事の形が決まりやすい時期です。

① 4月11～13日ごろ | 好きなものを、自分で選びやすい

人に合わせるより、自分が本当に好きなものを選びやすい数日間です。誰かの評価を示すものではなく、あなた自身の選ぶ力が働きやすい時期です。

たとえば



相手が喜びそうなものを選ぶいつもの買い物



「これは私が好きだから」と自分のために選ぶ買い物の方が、この時期のあなたには満足感があります。





2

16日ごろ |

集中してきたことに、一区切り



1月下旬から続いた集中しやすい時期が、ここで区切りを迎えます。この3か月で続けてきたことを振り返り、何が自分に合っていたかを見極めやすい時期です。

3

半年前の予定と、今の予定を比べる



11月に見直し始めた毎日の過ごし方は、この半年でいくつか変わっているはずです。半年前と今の予定を並べると、あなたが自分で選んだ予定がどれくらい増えたかが、目に見えて分かります。

半年前の自分の予定表を見返して、そこに自分の楽しみがほとんど入っていなかったことに気づく。





4月18～30日ごろ

大切にしたいことと、引き受ける量を見直す

下旬から、自分の大切にしたいことと、引き受けている責任の量を見直しやすい時期が始まり、5月以降も続きます。何かがうまくいなくなる知らせではなく、好意から引き受けてきたことの量を、自分に合う量に戻す時期です。上の4つの選択肢に分けてみると、次の半年がずっと軽くなります。

4月は、引き受けてきたものを並べて、自分の喜びのために残すものを選ぶ月。



4月11～13日ごろ・4月18～30日ごろ・1月24日～4月16日ごろの星の動き ×
蟹座の太陽・乙女座の金星・乙女座の月





おわりに | 人を喜ばせる力を、自分にも

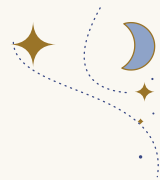


あなたは、大切な人の役に立つことで満たされる人です。行動で好意を示し、先が見える安心を求めながら、人の言葉の先まで考えて聞く。その力は、この半年も変わりません。

変えていくのは、その力の使い道です。この半年は次の順番で進みます。11月に毎日の過ごし方を見直し、12月に好意を言葉にする。12月末から3月は恋愛の転機、2月下旬から3月上旬は仕事の転機。4月に、続けるものを選ぶ。

人を喜ばせるのが得意なあなたは、同じ力を自分にも向けられます。相手の好みを覚えるように、自分の好みを書き出す。相手の予定を組むように、自分の楽しみを先に予定に入れる。相手の話を深く聞くように、自分が本当は何をしたいのかを、自分に聞いてみる。





半年のあいだに、 試してみしてほしいこと

11月



自分の「好き」を5つ書き出す

☐

12月



「いつもありがとう」を言葉で一度伝える

☐

1月



惰性の出費を一つやめる

☐

2月



「好き」を一つ、日付を決めて予定にする

☐

3月



行き先を、自分の行きたい場所にして誘う

☐

4月

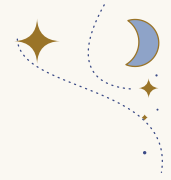


引き受けていることを一つ、人に渡す

☐

人を喜ばせる力で、自分の喜びも増やしていい。





半年のあいだに、試してみたいこと



11月：自分の「好き」を5つ書き出す

12月：行動で示してきた相手に、「いつもありがとう」を言葉で一度伝える（仕事の相手も含めて）

1月：満足していないのに続けている出費を一つやめ、その分を新しく試したいことに回す

2月：書き出した「好き」のうち一つを、日付を決めて予定にする。仕事で温めていた案があれば、手順つきで一つ出す

3月：誰かを誘うとき、行き先を自分の行きたい場所にする

4月：仕事と暮らしで引き受けていることを書き出して、一つを人に渡すか手放す





付録 | 星のメモ

本文の札に出てくる星の配置と、この冊子での読み方です。生まれたときの配置（性質）と、この半年の星の動き（時期）に分けています。

蟹座の太陽（第5ハウス）

太陽は、その人の中心にある意思や生き方を表します。蟹座は親しい人を大切に守りたい気持ち、第5ハウスは喜びや楽しみを育てる場所。この二つを合わせて、「大切な人とのあいだに喜びを育てたい人」と読みました。

乙女座の月（第6ハウス）

月は、心が落ち着く条件を表します。乙女座は細やかさと整え方、第6ハウスは日々の暮らしと段取り。ここから、「見通しが整うと安心する心」と読みました。

蟹座の水星（第4ハウス）

水星は、考え方と言葉の使い方を表します。蟹座は気持ちや記憶を含めた受け取り方、第4ハウスは私的な場での会話。ここから、「言われた言葉の、その先まで考える人」と読みました。





乙女座の金星（第6ハウス）

金星は、好意の示し方と心地よさを感じるものを表します。乙女座と第6ハウスにあることから、「日常の細やかな手助けに好意を込め、また感じる人」と読みました。

双子座の火星（第3ハウス）

火星は、行動の起こし方を表します。双子座は言葉と好奇心、第3ハウスは会話や身近なやりとり。ここから、「話しながら動き出す人」と読みました。

月と金星の重なり

心が落ち着く条件と、好意を感じるものが、同じ場所で重なっています。そのため、「一緒にいて落ち着く」と「好き」が、ほとんど同じ意味になりやすいと読みました。

月と火星の90度

落ち着きたい心と、すぐ動きたい行動力が、ぶつかり合う角度にあります。「安心したいから急ぐ」という回り方の、もとになっている配置です。





水星と金星の60度

言葉と好意が、なめらかにつながる角度です。うれしかったことや好みを、具体的な言葉で返せる力として読みました。

太陽と海王星の180度

中心の意思の向かい側に、理想や想像を表す星があります。思い描く関係の像がはっきりしているぶん、実際の関係と照らし合わせることが大切になる配置として読みました。

月と木星の60度

心の星と、ゆとりを表す星がなめらかにつながっています。人の事情を受け止める余地を持っている人として読みました。

半年の星の動きは、まん中の「半年の流れ一覧」にまとめています。時期は日本時間で、前後に少し幅をもたせて「ごろ」と書いています。

この冊子では、生まれた時刻が数分ずれると結果が変わってしまう配置は、本文に使っていません。

